

研究課題名	ロボット支援下前立腺全摘除術（RARP）の周術期抗菌薬投与方法と術後感染症発生に関する後ろ向き研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器科学 教授 日向 信之
研究期間	実施許可日 ～ 2026年3月31日
対象者	2009年8月から2021年8月の間に、広島大学病院泌尿器科でロボット支援下前立腺全摘除術を受けられた患者さん
意義・目的	本邦でのロボット支援下前立腺全摘除術（Robotic-assisted radical prostatectomy：RARP）での術後感染症（SSI及びRI、UTI）の報告はありません。海外の文献ではRARPでのSSI発生率は0-2.5%と報告されておりますが、抗菌薬投与日数との関係を検討した報告はなく、RARPの周術期抗菌薬投与日数と術後感染症発生率の検討を行う目的で、後方視的に抗菌薬の種類、投与日数、患者背景、術後感染症の有無を調査します。
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は</p> <p>①患者背景（RARP手術日、年齢（生年月日）、身長、体重、糖尿病の有無（HbA1c）ステロイド/免疫抑制剤内服の有無及び投与期間、iPSA、臨床病期）②抗菌薬の種類③抗菌薬の使用期間④手術時間（分）、出血量（ml）⑤術中合併症⑥周術期感染症⑦術直近の膿尿の有無、起茵菌、治療の有無⑧尿道留置カテーテル除去時のLeakの有無、尿道留置カテーテルの留置期間です。</p> <p>取得した情報は、氏名・住所の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。上述のように誰のものか分からないように加工された情報を、電子メールによって、藤田医科大学に提供し、解析に用いられます。</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者 藤田医科大学 腎泌尿器外科学講座 教授 石川清仁</p> <p>共同研究機関（研究機関、研究責任者）</p> <p>兵庫医科大学 山本新吾</p> <p>国際医療福祉大学病院 内田克紀</p> <p>国際医療福祉大学成田病院 宮崎淳</p> <p>神戸大学 梁英敏</p> <p>大津赤十字病院 石戸谷哲</p> <p>岡山大学 定平卓也</p> <p>帝京大学 中川徹</p> <p>広島大学 北野弘之（機関の長 理事 田中純子）</p> <p>自治医科大学 亀井潤</p> <p>島根大学 和田耕一郎</p>

NTT 東日本札幌病院 桧山佳樹

独協医科大学 別納弘法

試料・情報の管理責任者

藤田医科大学 腎泌尿器外科学講座 教授 石川清仁

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

北野 弘之

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5242

広島大学病院泌尿器科 職名 助教 北野 弘之